事　務　連　絡

令和2年10月5日

都道府県医師会・郡市区等医師会　御中

公益社団法人　日本医師会

日本医師会ORCA管理機構

医療機関向けキャッシュレスサービス　2次パイロットスタディ参加者募集について

拝啓　初秋の候、貴会ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当会の活動に格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

　現在、政府は国内におけるキャッシュレス決済の普及を促進しており、昨年6月に閣議決定された「成長戦略フォローアップ」において、2025年までにキャッシュレス決済の利用率を40パーセント程度にまで引き上げることを目標としています。

　医療分野においては、医療機関を受診する患者にとって、突然通院する必要がある場合や、現金の手持ちがない場合でも受診できるなど、キャッシュレス決済に対する希望は高いものがありますが、実際には普及が進んでいません。その原因としては、カード会社を中心とする加盟店手数料や、利用開始までの煩雑な手続き、キャッシュレス決済機器の導入、操作方法の修得など、様々な面で負担が大きいことが挙げられます。特に最大の課題は、医療機関による手数料負担です。そこで、日本医師会は、「一般社団法人キャッシュレス推進協議会」の場で、一貫して、医療機関の手数料負担を軽減すべきであると主張し、同時に、経済産業省と厚生労働省に対し、負担軽減のために協力して検討するよう要請してまいりました。

　医療機関における手数料負担軽減の現実的な対策としては、多くの医療機関がまとまり、キャッシュレス決済事業者に一括で取り扱ってもらうことが有効とされています。その効果や課題を検証するため、日本医師会ORCA管理機構は、昨年度、キャッシュレスサービスの一括取扱いに関するパイロットスタディを小規模で実施いたしましたが、今年度は対象を全国47都道府県に拡大し、2次パイロットスタディを実施することにいたしました。

　このパイロットスタディでは、端末費用、導入費用および月額の利用料を無料とし、決済手数料は2.46%（税別）に設定しています。当面は、VisaとMastercardのクレジットカードのみですが、交通系電子マネーなどの取り込みも進めています。これらの結果をもとに、医療機関におけるキャッシュレス決済のメリットを大きくし、デメリットを最小限にするよう、厚生労働省・経済産業省にさらに働きかけ、必要とされる医療機関に、速やかに導入いただけるよう、対応してまいります。地域性や診療科の特性による課題を検証するためにも、なるべく多くの医療機関のご協力を賜りたいと考えております。各医師会におかれましては、別添の資料をご確認いただくとともに、会員の先生方にご周知いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

【お申込み】

　下記サイトの最下行にある「ライトプランのお申込み」ボタンからお申込みください。

<https://www.orcamo.co.jp/products/cashless.html>

【ご紹介サイト】

　日本医師会ORCA管理機構　医療機関向けキャッシュレスサービス

<https://www.orcamo.co.jp/products/cashless.html>

【その他】

　ご紹介資料

<https://www.orcamo.co.jp/doc/cashless_20200818.pdf>

　良くあるご質問

<https://www.orcamo.co.jp/doc/cashless_FAQ_v1_5.pdf>

【お問合せ先】

　日本医師会ORCA管理機構株式会社　営業企画部　キャッシュレス担当

　電話　：03-5981-96893

　メール：[orca-cashless@pm.orcamo.co.jp](mailto:orca-cashless@pm.orcamo.co.jp)

------------------------------------------------------------

井川　智彦＠公益社団法人 日本医師会 情報システム課

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL：03-3946-2121(代)、03-3942-6135(直)